

教材・支援機器活用実践事例(特別支援学校)

実践年度・タイトル		平成28年度
		ICTを活用した人体解剖図(紙)の作成
授業について	教科名等 (該当する教科名等を選択。当てはまらない場合はその他を選択し、次の単元・題材名の欄に記入。)	<input type="checkbox"/> 国語 <input type="checkbox"/> 社会 <input type="checkbox"/> 算数/数学 <input checked="" type="checkbox"/> 理科 <input type="checkbox"/> 生活 <input type="checkbox"/> 音楽 <input type="checkbox"/> 図画工作/美術 <input type="checkbox"/> 家庭/技術・家庭 <input type="checkbox"/> 体育/保健体育 <input type="checkbox"/> 道徳 <input type="checkbox"/> 外国語/外国語活動 <input type="checkbox"/> 総合的な学習の時間 <input type="checkbox"/> 特別活動 <input type="checkbox"/> 自立活動 <input type="checkbox"/> 各教科等を合わせた指導 <input type="checkbox"/> その他の教科 <input type="checkbox"/> その他()
	単元・題材名	人のからだ・体の内部器官を知る
	授業の目標	・各臓器の場所や簡単な働きについて知る。 ・筋力トレーニングやストレッチなどを通して、使用する体の各部位について知る。
	観点別学習状況の評価の観点 (教科の特性により設定した観点がある場合は「その他」を選択し記載。)	■「知識・理解」 <input type="checkbox"/> 「技能」 <input type="checkbox"/> 「思考・判断・表現」 ■「関心・意欲・態度」 <input type="checkbox"/> その他()
学習集団と子どもの実態	学校・学部・学年・人数	■特別支援学校 <input type="checkbox"/> 就学前 <input type="checkbox"/> 小学生 <input type="checkbox"/> 中学生 ■高校生以降 <input type="checkbox"/> 特定されない 1年 17人
	対象の障害	<input type="checkbox"/> 視覚障害 <input type="checkbox"/> 聴覚障害 ■知的障害 <input type="checkbox"/> 肢体不自由 <input type="checkbox"/> 病弱・身体虚弱 <input type="checkbox"/> 言語障害 ■自閉症 <input type="checkbox"/> 情緒障害 <input type="checkbox"/> LD(学習障害) ■ADHD(注意欠陥/多動性障害) ■その他
	子どもの課題(特性・ニーズ)	<input type="checkbox"/> 見る <input type="checkbox"/> 聞く <input type="checkbox"/> 話す <input type="checkbox"/> 読む <input type="checkbox"/> 書く <input type="checkbox"/> 計算する <input type="checkbox"/> 推論する ■運動と姿勢 ■日常生活活動 <input type="checkbox"/> 不注意 <input type="checkbox"/> 多動性・衝動性 <input type="checkbox"/> 社会性・コミュニケーション ■覚える・理解する <input type="checkbox"/> その他 ・自身のボディイメージをもつことが難しい。 ・体づくりなどで筋力トレーニングやストレッチをしているが、体の部位や筋肉の名称が分からないため、どこに力が加わっているのかイメージをもって活動することが難しい。
ICT活用について	使用した支援機器・教材の名称と画像 (使用した支援機器・教材の名称を記載し画像を挿入。なお、特定の製品に特化した実践の場合は製品名を記載。)	プロジェクター、拡大投影機
	活用のねらい	Aコミュニケーション支援(<input type="checkbox"/> A1意思伝達支援 <input type="checkbox"/> A2遠隔コミュニケーション支援) B活動支援(<input type="checkbox"/> B1情報入手支援 <input type="checkbox"/> B2機器操作支援 <input type="checkbox"/> B3時間支援) C学習支援(■C1教科学習支援 <input type="checkbox"/> C2認知発達支援 <input type="checkbox"/> C3社会生活支援) ・全体で確認することで、一斉に情報の共有を図る。 ・映像や画像等を用いて、興味・関心を高め、意欲の向上につなげる。
授業に授業者展開支援	授業展開と画像 (授業の様子、ICT活用場面の画像を挿入。)	1 体づくりやストレッチで活用する部位について (1)筋肉の各部位が書かれた画像を拡大投影機で映し、それぞれの部位を確認する。 (2)ストレッチや筋力トレーニングの種類を提示し、どの部位が働いているのかについて、確認した部位の中から選択して答える。 (3)拡大した画像でその部位を示し、実際の体育及び体づくりの映像を見て定着を図る。 (4)ワークシートに記入する。 2 体内の臓器について (1)人体解剖図に色を付ける。(A4サイズ) (2)各臓器単体が描かれたワークシート(A4サイズ)に、人体解剖図で色を付けたのと同じ色で各臓器を着色する。 (3)プロジェクターから映し出された臓器を切り抜き、人体図(A3サイズ)に貼る。(どの位置にあるのかを確認しながら貼る。) (4)体内の背中側から胸側に貼り重ね、立体的になるように作成する。(各臓器の位置が確認できるよう貼り方を伝える。) (5)作成した立体解剖図を見ながら、消化管の描かれたワークシートに記入し、定着を図る。
効果・評価	子どもの様子や変容および授業の評価	・意欲的に活動に取り組む様子が見られ、興味・関心を高めることができた。 ・生徒の手指の使い方や集中力の状況について改めて確認することができ、他教科への指導の参考になった。 ・体づくりや体育など、体を動かす際、どの部位に力を入れると良いのかについて、イメージをもって取り組むことができた。